

市民フォト

No.2

●昭和55年9月1日発行

レンガ色のトラックに緑の芝生。朝のすがすがしい大気の中で、家族揃ってランニング。鴨池陸上競技場の日曜日早朝走ろう会に集う人たち。

(人物はミス鹿児島・川畠久美子さんと鴨池一丁目の門田さん、北原さんのご一家)

鹿児島



私の作品



もくじ

私の作品.....

特集・50万都市鹿児島.....

50万都市へのあゆみ.....

2

鹿児島の現状.....

50万都市としての今後の課題.....

人物登場(平野博さん).....

ぼくらの施設めぐり(いしき園).....

市民のひろば.....

奥様こんにちは(渡辺御恵子さん).....

あなたのフォトサロン

甲突川河畔.....

夏、汗...高校野球(鹿児島大学写真部).....

わたしの散歩道(永田川・川口).....

カメラトピックス.....

あの店この店(パンのミカエル堂).....

市立美術館(薩摩切子).....

27

26

25

24

23

21

19

18

17

16

14

13

10

9

8

7

5

工事場	
宇宿小学校三年 加藤慎太郎	

います。学級のみんなとその工事場をスケッチしました。なるべく大きな感じが出るようにかきました。

どんな大きな建物ができるか想像してみました。大きなせん車のようなクレーンのだろうかと楽しみです。

下から見ると、大きいなあと思
めに、今工事をはじめています。
大きなせん車のようなクレーン
が、ドスンドスンと一日中音をた
てています。

学校のそばでストアをたてるた
だ。

学校のそばでストアをたてるた
だ。

特集50万都市鹿児島

鹿児島市は、七月十日、推計人口が五十万人を突破、五十万都市の仲間入りをしました。

五十万都市としては、東大阪、熊本について全国で十九番目（東京を含む）。九州では福岡、北九州、熊本について四番目にあたります。これにより、いわゆる指定都市としての資格を有したことになるわけです。五十万都市として新たなる船出をした鹿児島市——。これを機会に、五十万都市・鹿児島にスポットをあててみました。



(写真提供 南日本新聞社)

50万都市としての今後の課題

急ぎたい環境整備

一口に五十万都市といいますが、鹿児島市は全国六百四十七ある都市の中では第十九位、大変大きな都市です。従つて、人口五十万人突破は鹿児島市にとって記念すべきひとつの節目であり、南九州の中核都市としての地位をさらに高めたといえましょう。

五十万人到達により、政令指定都市となる資格を有したとはいえた人口集中が進んだため、高度成

るわけではありません。本来、人

口が増え、街が大きくなることは

面で恩恵を与えてくれるはずのも

のです。しかし、いつたん、その

人口の増加とそれに見合う体制づ

くりのバランスが狂うと、過密と

いう深刻な都市問題を引き起こす結果になります。

特に鹿児島市の場合は、平坦部が

少ない地理的条件の中で、こうし

かし、通勤難や交通マヒ、住宅や

長期に次々とシラス台地の上に新

興団地がつくられ、さらに、市街

化調整区域の無秩序なスプロール化が進み、他都市に比べ、都市過

密がいち早く進行してきたといわ

れます。

周辺団地からの市街地への交通

量の増大により、主要道路や市街

地流入部において交通渋滞などが発生し、電車やバスなどの大量輸送機関の輸送率の低下を招いています。さらに、水の需要の増加に

より、市域の水資源は限界に達し

ています。そのほか、ゴミや治安

防災の問題など、数多くの都市問題をかかえています。

広域的なまちづくりを

今後、市の人口がどこまで増え

るのか、現段階では予測さえ不

可ですが、すでに、増加率は鈍化し

はじめているものの、このままの

ペースで増え続けると、六十五年

には、推計人口五十八万人程度に達するものと見られています。し

かし、水の不足、公害など、現在でも課

題が多く、これ以上、人口が増え

ると“パンク状態”におちいるのは目に見えています。

それだけに、今後の対策として

は、周辺市町村と調和のとれた發

展をめざし、住居や働く場の確保、

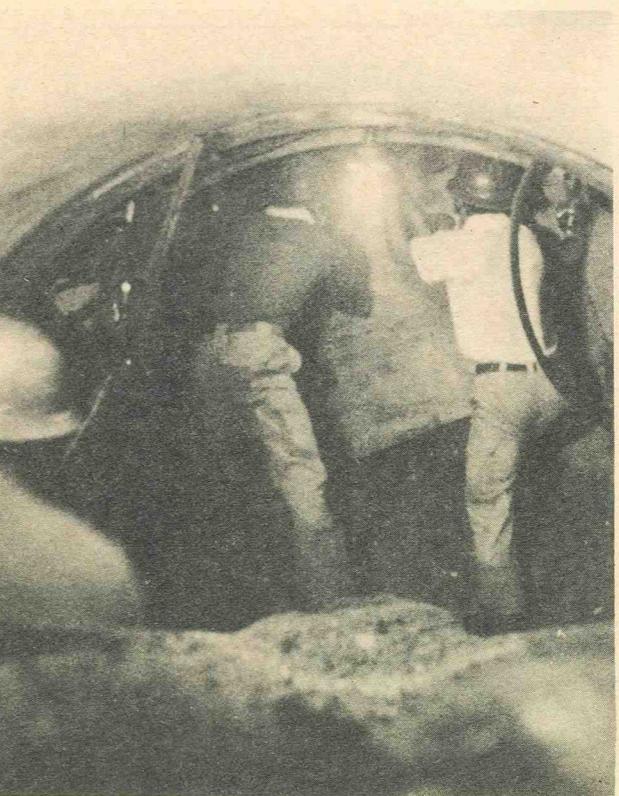
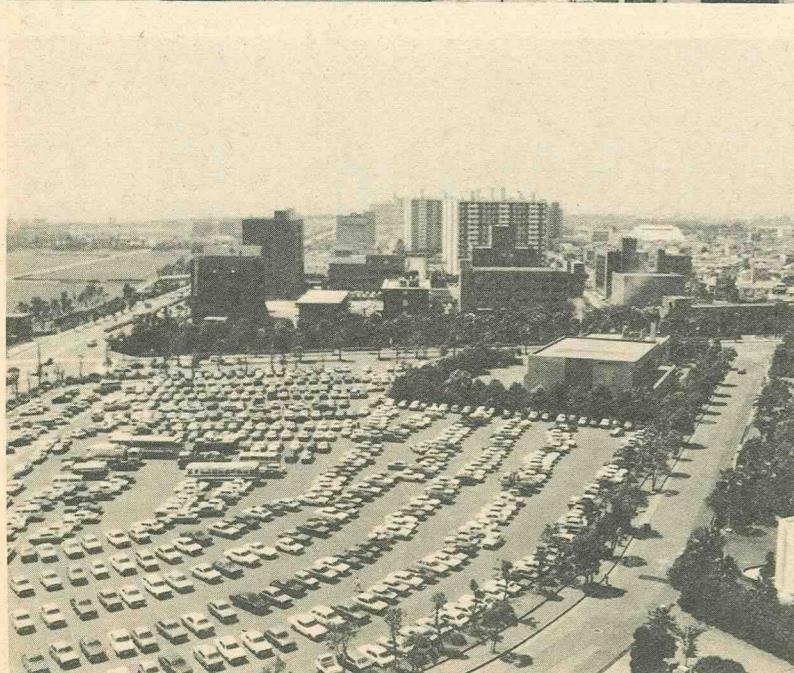
医療などについて広域的にとらえ、

それぞれの市町村が新しい時代の

機能を分担し合う広域的地域社会づくりを推進することが必要です。

また、市街地の再開発も今後の

大きな課題といえましょう。



人物登場

自信を持って出した予報も確率は八〇%。より高い確率と限りない自然の探究に夢は広がる

小学一年生の次女から、「天気予報が当らなかつた」と言わるのが一番つらいと語る子煩惱。折しも、

九月一日は二百十日。台風襲来、暴風雨と天気の動きが気になる季節だ。

●鹿児島地方気象台予報官

平野 博さん

大分県竹田市出身。昭和二十九年大分地方気象台に入所。三年間の気象研修所高等部(現気象大学)での研修を経て、福岡管区気象台へ。背振

山レーダー、対馬・厳原両測候所などを回り、五十三年から現職。下伊敷町の公務員宿舎に頼子夫人と一男二女の五人暮らし。四十五歳。

気象レーダー、ロボット観測所からも気温、雨量、風速、雲量など各種の気象データが集まつてくる。

平野さんは観測十五年、予報十年のベテラン。現在、五人の予報

「発生のメカニズムはある程度解明されてきたが、まだ、発生場所、時間の予測はむずかしい」という。

さて、二百十日を迎えて、台風シーズン到来で平野さんらの仕事も忙しくなる。でも、ここ近年、鹿児島は台風から遠ざかつた感じも。「正面に来ていないだけで、昨年

官とともに当番制で、観測データをもとに毎日の天気予報を出す。

現在、天気は「晴れ」「曇り」「雨」の三つを組み合わせた予報だが、

これからは「明日雨が降る確率は何%」というような「確率予報」に変わり、より予報の精度がわかる方向に変わっていくという。

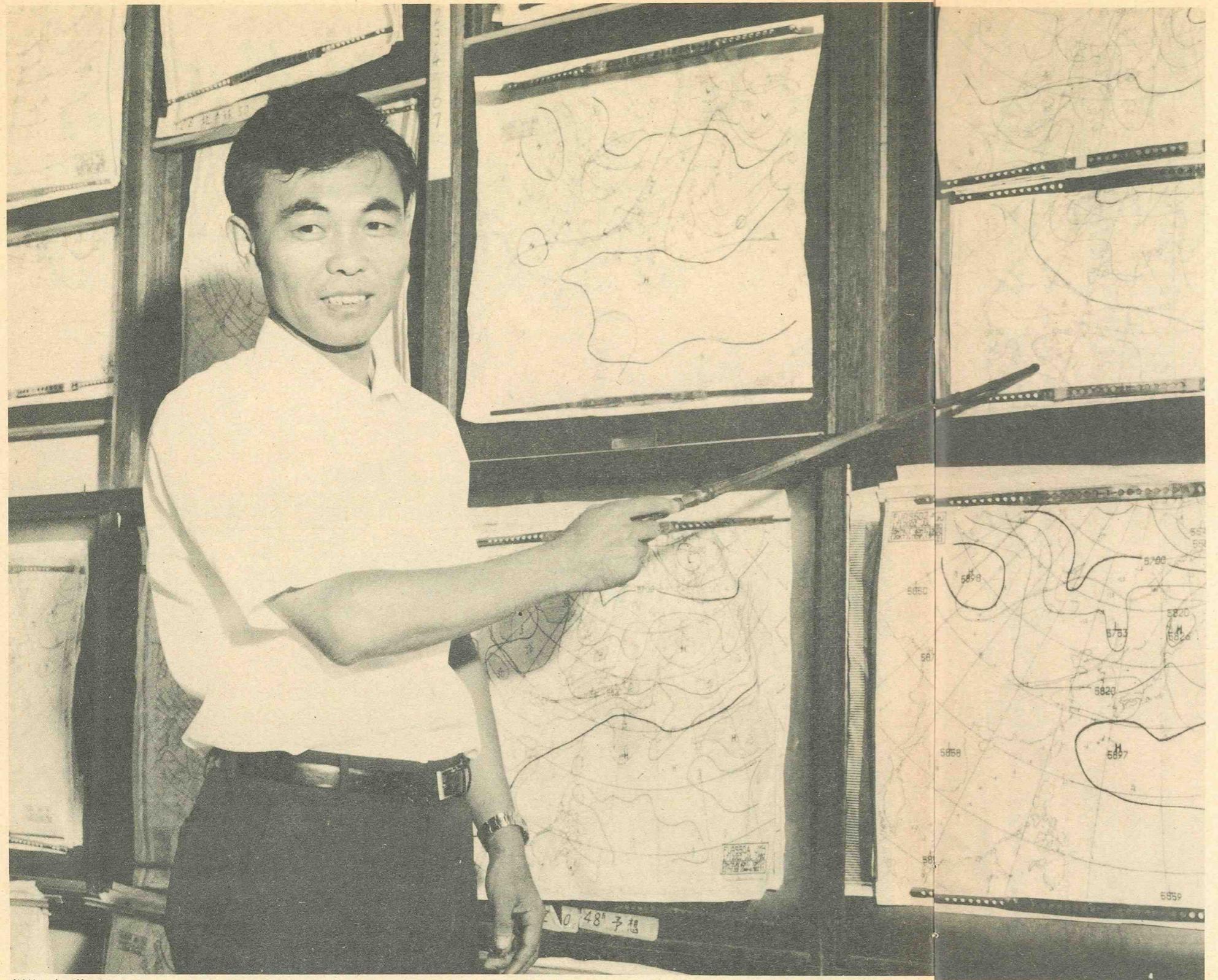
平野さんは中学、高校時代に理

科の先生に触発され、気象観測の道へ。昭和二十九年大分地方気象台へ入った。当時、大雨で被害が続出。これをきっかけに、集中豪雨の研究とも取り組んでいる。だが、

「発生のメカニズムはある程度解明されただが、まだ、発生場所、時間の予測はむずかしい」という。

さて、二百十日を迎えて、台風シーズン到来で平野さんらの仕事も忙しくなる。でも、ここ近年、鹿児島は台風から遠ざかつた感じも。

— 8 —



撮影／三井 五男

は三個ぐらい周辺を抜けている。離島への影響は大きく、五十二年九月の沖永良部台風は記憶に新しいところ。今年は可能性が強いです」と、あまり有り難くない予報。

「秋台風は、夏台風に比べ足が早く、瞬く間に北上する。勢力も大きくなる。これに秋雨前線を伴うことが多く、雨の被害の心配も」。鹿児島は台風はさけられない。台風の性格をよく知り、事前の防災対策を怠らないことが被害を最少限に食い止める手段だ。」

だが、「この台風も気象的観点からいうと、暖かい空気を冷たいところへ運び、地球の気候のバランスをとり、生物の生存しやすい環境をつくる役目を果たしている。気象は一見、気まぐれのようだが、規則正しく動いている。これを人間が見極めて、はじめて完全な予報が可能になる。気象学は、まだこれからです」と、限りない自然の探究に夢を広がらせている。

文／新 西 弘 雪

鹿児島新報社記者

— 9 —



▲テレビを囲んで午後のひととき



▲焼き上がりが楽しみ

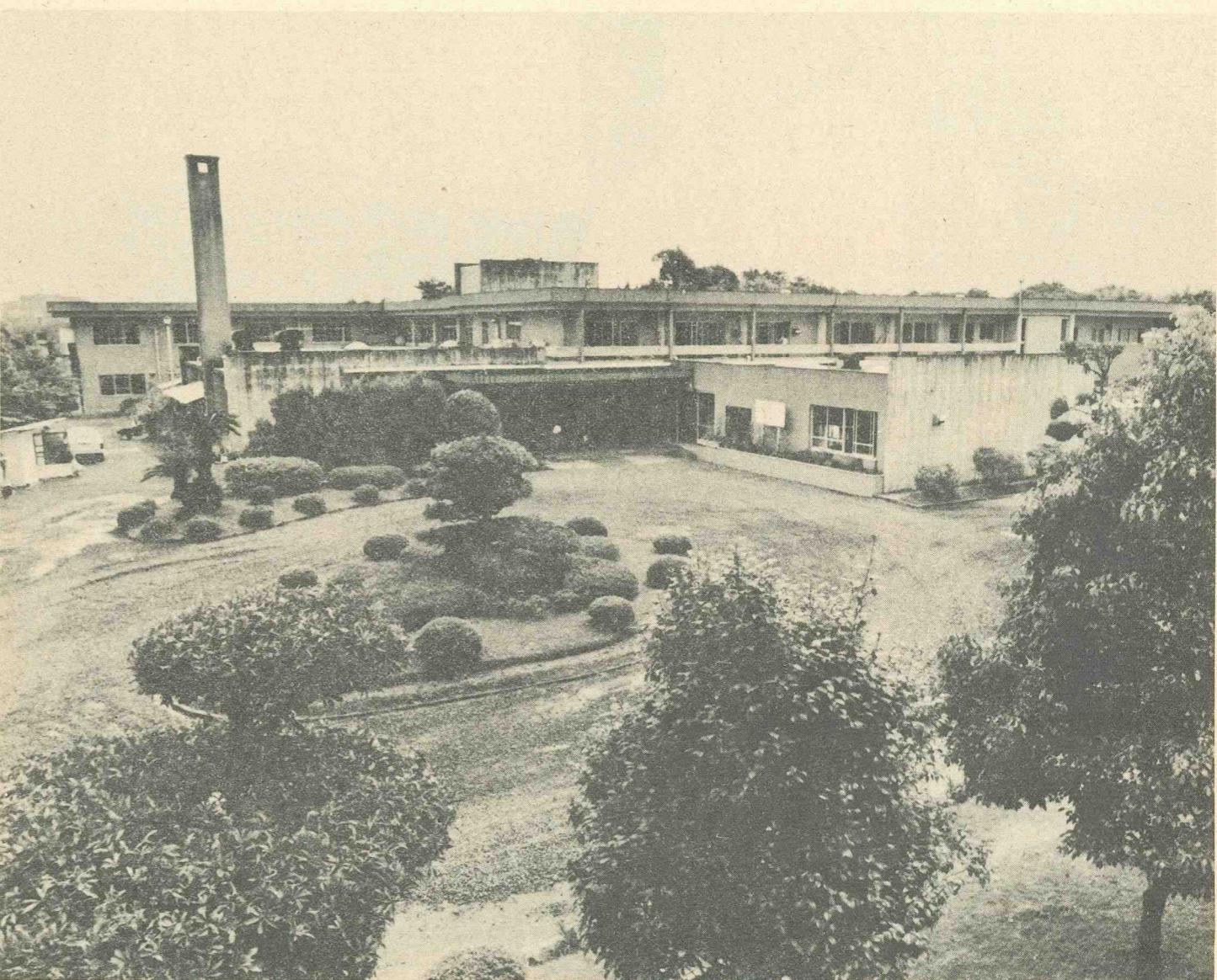
西伊敷小学校の児童も大勢参加するそうです。
毎日の生活は、起床、清掃、食事、体操、作業など、規則正しく行われており、どのお年寄りたちも若々しく、いきいきとしておられることがあります。とてもうれしく思いました。



▲昭和54年7月28日、常陸宮ご夫妻来園

廊下や浴室には「手すり」がつかけられ、また二階へ上のスロープには「すべり止め」の設備がしてあるなど、いたるところに入園者への細かい思いやりが感じられます。お年寄りの部屋は南向きで大変明るく、私たちはその部屋でおばあさんたちの肩をたたいたり、学校のことなど、いろいろな話をしたりして、大変喜んでもらいまし

ぼくらの施設めぐり いしき園



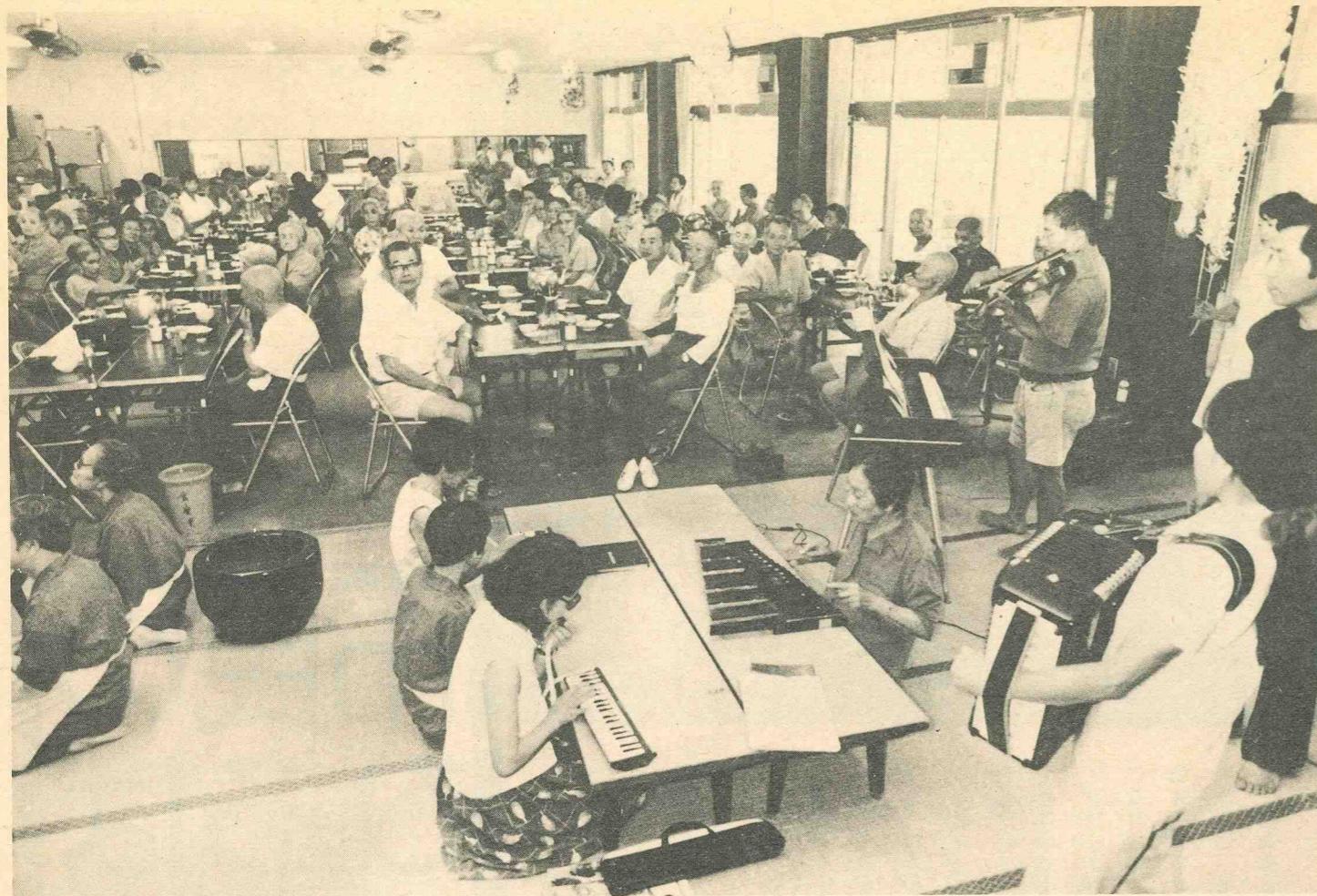
▲静かなたたずまいのいしき園

伊敷団地の一角にある市立いしき園は、昭和四十八年四月開園以来八年目を迎えました。



▲原口園長から説明を受ける鶴田君(左)と沖さん(右)

伊敷団地中央バス停留所から歩いて十分、西伊敷小学校の隣りに「市立いしき園」があります。下の谷間には、九州縦貫自動車道も見える場所です。



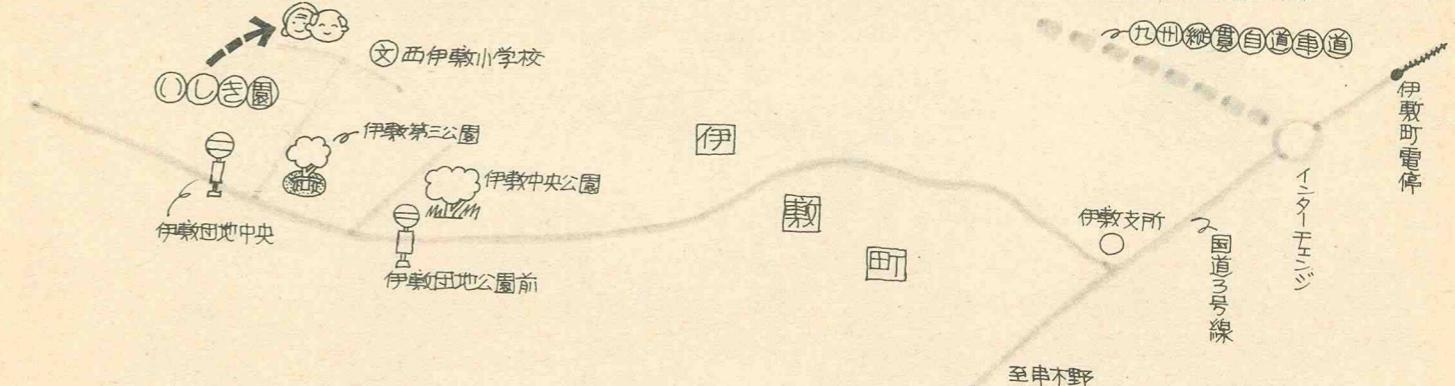
▲昼食後、全員で大合唱



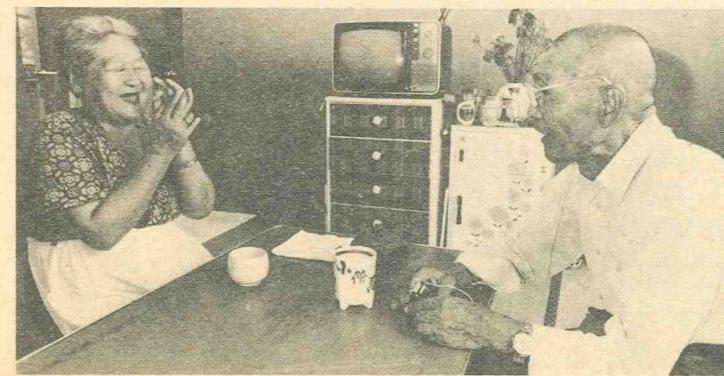
▲『おはら節』を奏でる音楽グループ



▲腰を伸ばして朝の体操イチ・ニイ・サン



▲打ちとけて、すっかり皆な仲良しに



▲話に花咲く仲良し夫婦



▲若くなります運動会での仮装行列

市民のひろば

TV 放映

「市民のひろば」は、MBCから放送されます。放送日時は、毎月第三日曜日を除く、日曜日の午前八時から十五分間。ただし、第四日曜日は三十分間放送。

ふれあいの広場 コミュニティセンター

市の人口も五十万。各所に団地やマンションができ、大きく変貌する鹿児島市。都市化が進むと、とかく、協調や連帯、ふれあいの意識が薄れ、自己中心的に物事を考えるといわれます。

そこで、地域コミュニティセンターに集い、学習講座の場を通して、コミュニティの輪を広げている皆さんに、学ぶ喜びなどについて語つてもらいました。

司会 市長さん、また新しいコミュニティセンターが完成したようですね。

市長 五月の末に武・田上コミュニティセンターがオープンしました。

これで、七つのコミュニティセンターができるがつたわけですが、あと一つ東桜島につくることにして

います。支所と防災センターを兼ね備えたコミュニティセンターができあがりますと、コミュニティセンターの建設が一段落したことになります。

司会 コミュニティセンターのもつ役割は、従来の公民館と比較して、随分変わってきたのではないでしようか。

精神の豊かさをつくり、そして、そこにふれあいができるいかなければ、これから五十万都市というものは、りっぱにならないと思っています。

司会 コミュニティセンターは地域のお茶の間なのです。

司会 ところで、多くの方がいろいろな講座を学んでいらっしゃるのでしょうか。

市長 そうですね。公民館講座だけでも百六十六講座もありまして四六時中、たくさんの方がコミュニティセンターにおいてになっていきます。

今やコミュニティセンターは地域の城といいますか、城といえば堅いですが、お茶の間というぐらいの存在になってきています。

司会 それでは、市長さん、そこを利用なさっている皆さん方に話を

岸本 私は、ここで栄養と料理教室が開かれると聞いたのですから、さつく申込みましたが、「応募者多数の中から抽選の結果、合格」という通知をもらったときには、うれしくてうれしくて。(笑)

そして今、料理教室では受験生のやつだとか、田植えの時の野菜などもつくろうかと、みんな



出席者(敬称略)

岸本 逸子
野田 桂子
上床 行静

鹿児島市長
山之口 安秀
高島 康子



司会 受験生のおやつや田植えの
お菓子をつくろうと……

岸本 私は、ここで栄養と料理教室が開かれると聞いたのですから、さつく申込みましたが、「応募者多数の中から抽選の結果、合格」という通知をもらったときには、うれしくてうれしくて。(笑)

そして今、料理教室では受験生のやつだとか、田植えの時の野菜などもつくろうかと、みんなかけることも多かつたんですが、かがでしようか。



●高島さん
司会 利用された方々はどのぐら
いになるのですか。

市長 それがですね、大変なものなんですね。五十年度は延べ二十四万人だったのですが、昨年度はその約三倍の六十三万人にものぼっています。

司会 そんなに多くの方が利用しているらしいのですか。でもこの建設に当っては、ご苦労もあつたんじゃないかと思いますが……。

市長 そうですね、この低成長下の方々とのふれあいが薄れてきました。

司会 そこで、これを回復するためには、学習や健康づくりの場を通じてのコミュニティ活動が必要なの

であります。

司会 しかし、私は、やはりすばらしこまちづくりをするためには、市

長 そうですね、この低成長下にこれだけの投資をすることは、なかなか大変でした。

司会 しかし、私は、やはりすばらしこまちづくりをするためには、市

長 そうですね、この低成長下にこれだけの投資をすることは、なかなか大変でした。

司会 しかしこまちづくりをするためには、市

長 そうですね、この低成長下にこれだけの投資をすることは、なかなか大変でした。



●市長

谷山市民会館ができましてから、気軽に参加できるようになります。

た。

それから、私は乳幼児の母親学

級を学習して三年目になりますが、子どもも一緒につれて行きますので、家の中に閉じこもりがちだった子どもも、自然に社会性が身についてきたような気がします。

それに、運営面でありがたいこ

とは、子ども用の部屋を別に一部

屋つくつていただき、ボランティ

アの方々が預つてくださるので、

安心して勉強ができることです。

市長 野田さんは、これまで子

どさんのための学習が主だったわけですが、今後はどういう講座を受けたいと思っていらっしゃいますか。

野田 来年あたりから自主グル

ープに入つて、料理や好きな書道な

●岸本さん

ど、自分のための勉強をしたいと思ひます。そして、もつと皆さんとのふれあいを広くしていきたいと思います。

市長 ひとつがんばつてください。

上床さんは城西公民館を利用していらつしやいますが、コミュニティセンターについて、どのような

考えをお持ちでしようか。

上床 今、お一人のお話にもありましたが、コミュニティセンターは、まず勉強ができる、スポーツが楽しめ、地域の方が融和を深め

が楽しめ、地域の方が融和を深め

安心して勉強ができるところです。

市長 野田さんは、これまで子

どさんのための学習が主だった

わけですが、今後はどういう講座

を受けたいと思っていらっしゃいますか。

野田 来年あたりから自主グル

ープに入つて、料理や好きな書道な

●上床さん



●上床さん

幼児教育にも役立っています



●野田さん

野田 そうですね。自分自身に対する勉強しているということできれいなことだと思います。

市長 とりがで、子どもの考え方理解

した上で、しかれるようになつたことは収穫だと思います。これは、

また、情操教育の面からもいいのではないかと思っています。

司会 なるほど。やはり、備えあれば憂いなしということでしよう

か。

ところで、市長さん、今度新しく

できました勤労婦人センターや

イセンターという器の中で、心を

みがいていただくとともに、これ

勤労青少年ホームも、大勢の皆さ

んが利用なさっているようですね。

市長 これまで、働く婦人のた

めの施設がありませんでしたから

申込みがあり、ご婦人の方の関心の

高さを示しています。

司会 講座生の募集の時には何倍もの

に、有效地に施設を使つていらっしゃる皆さんのお話しを伺います

やるようですね。

市長 こうして、利用していらっしゃる皆さんのお話しを伺います

と、ほんとにつくつてよかつたな

あという感じで一杯です。

司会 今日はどうもありますがどうございました。どうぞ、皆さんも身近な施設を利用して仲間を増やし、コミュニティの輪を広げていただきたいと思います。

司会 野田さんは幼児教育をお受け

ますと、大変多くの都市問題がで

けになつていらっしゃるというこ

とですが、ためになつたとか、よ

く、めぐまれた環境にあるようであつたと思われることは…。

一番大切なことは、市民が我々の

奥様こんにちは

銀行員

渡辺御恵子さん



▲家族そろって楽しいひととき



▲海外旅行者が増え、両替客もひっきりなし。

銀行の窓口風景とは趣を異にした鹿児島銀行外国為替窓口。この道ひとすじという渡辺課内代理の姿はそこにあった。

海外旅行者の両替や貿易関係の外國送金などが主な仕事。ひつき

銀行の窓口風景とは趣を異にした鹿児島銀行外国為替窓口。この道ひとすじという渡辺課内代理の姿はそこにあった。

りなしに訪れる客と電話の応待に

二十五年目というベテラン銀行員の味が。客の中には、外国人も交じり英会話もスマートだ。「窓口

では真心と誠意を持って客に接していました」と話す言葉には、自

信と誇りが満ちあふれている。入行間もない頃、仕事の行きづまりを上司に相談。「解決への道は



▲話しぶりに銀行員の律義さが。

「仕事をおそくなることもあります。いつも忙しい母ですが、暇を見つけて買物につれて行ってくれる優しい母です」と千加子さんは話してくれた。

家庭は、夫一茂さんと一人娘で中学三年生の千加子さん、それに実母、実姉を交えた五人家族。休日には、読書と千加子さんの弾くピアノを家族全員で聴くのが楽しみだそうだ。

に対する意欲が燃えあがった。職業婦人の心構えを「職場の花としてでなく、常に仕事と家庭に責任を持つ厳しさが必要です」といいきる。

家庭は、夫一茂さんと一人娘で

中学三年生の千加子さん、それに

実母、実姉を交えた五人家族。

休日には、読書と千加子さんの

弾くピアノを家族全員で聴くのが

あなたの

かわせみ

甲突川河畔

鹿児島市の真ん中を流れる甲突
川には、石造りでは日本一長い武

之橋をはじめ、五大石橋が薩摩の

歴史の重さを物語っています。

この川も一時期、水が汚れまし

たが、市民の努力で再び澄んだ川

を取りもどしました。

そして、休日となると、多く

の市民が河畔で散策や魚つり、サ

イクリング、ジョギングなどを樂

しんでいます。

私も先日散策中、高麗橋の下で

水に潜り魚を取っているカワセミ

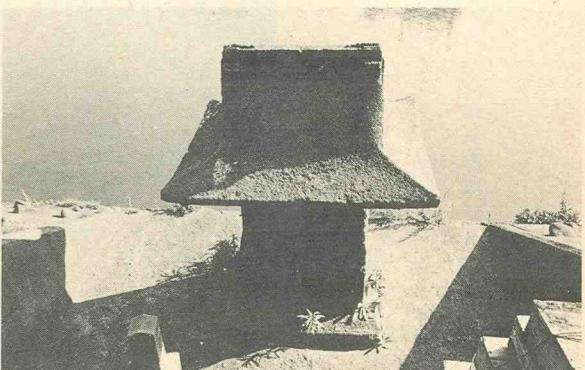
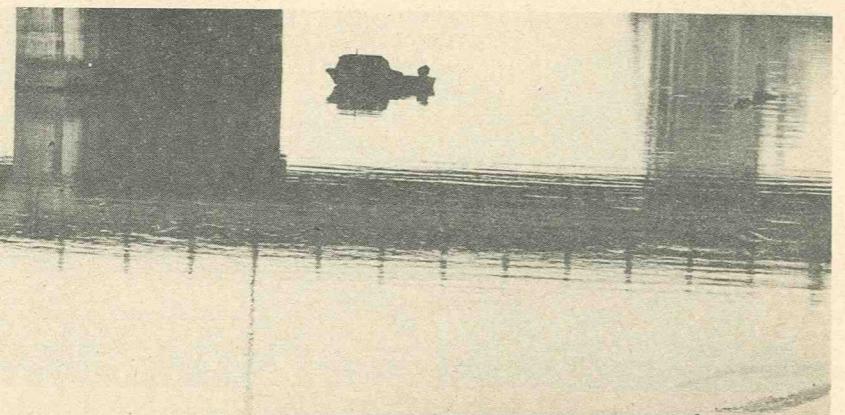
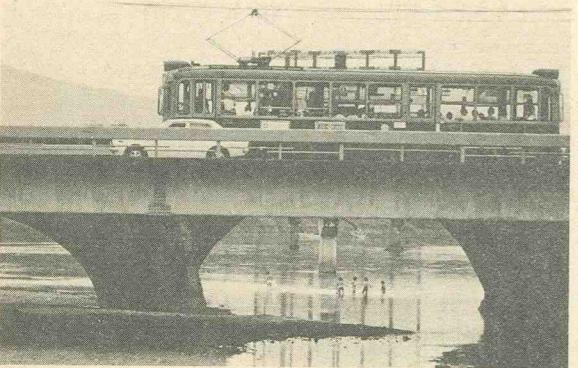
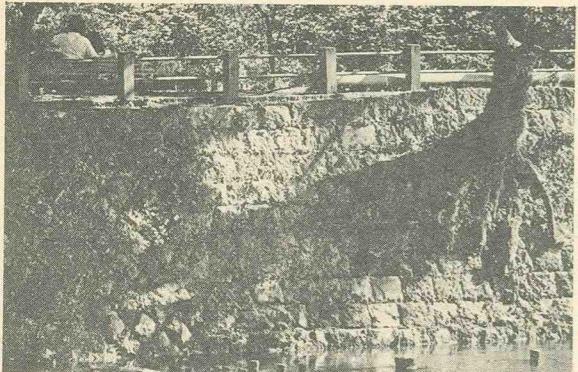
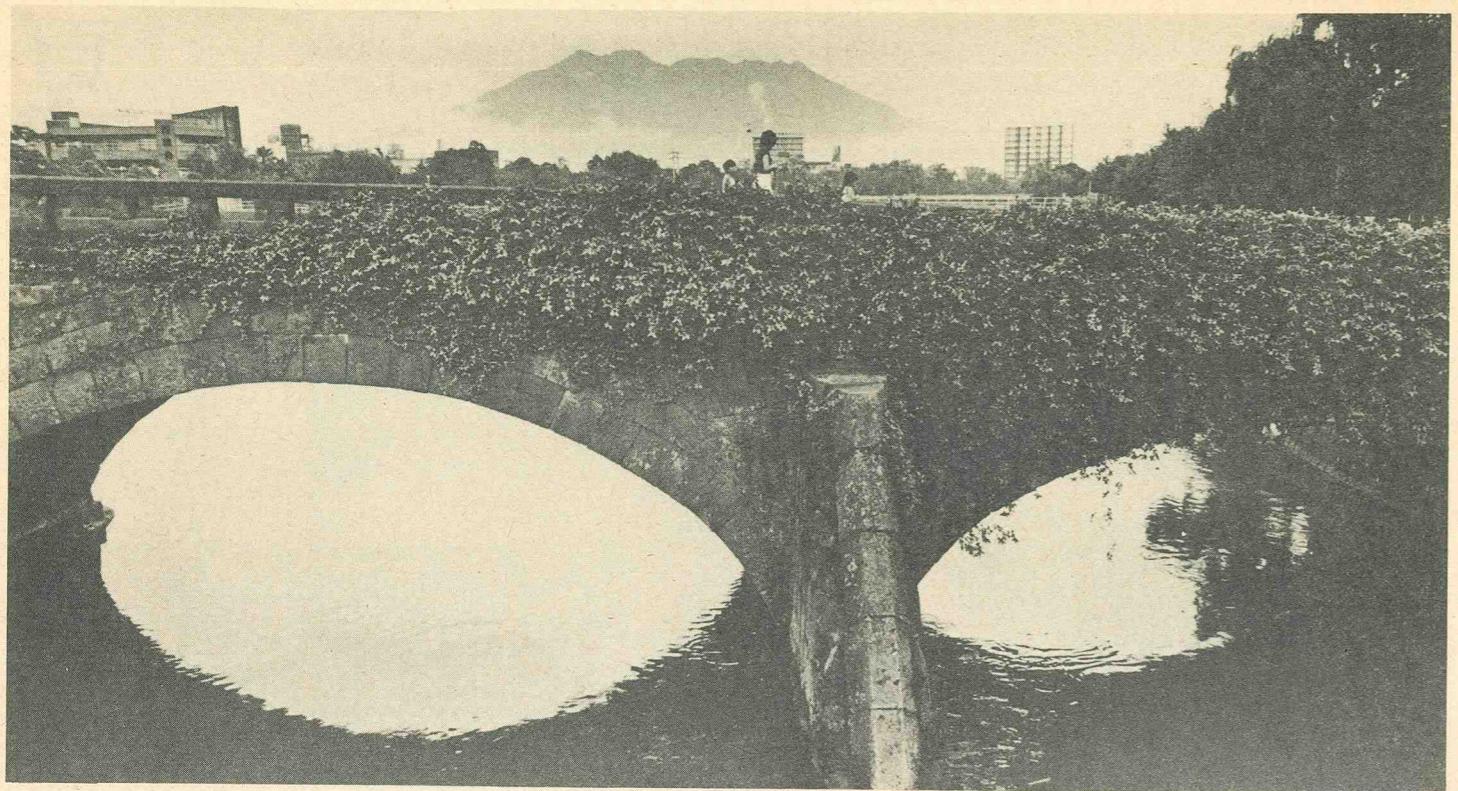
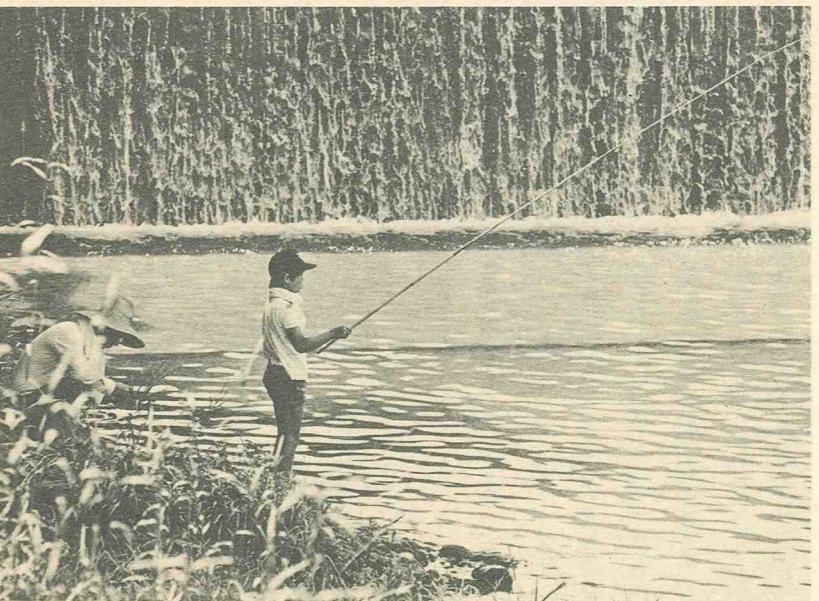
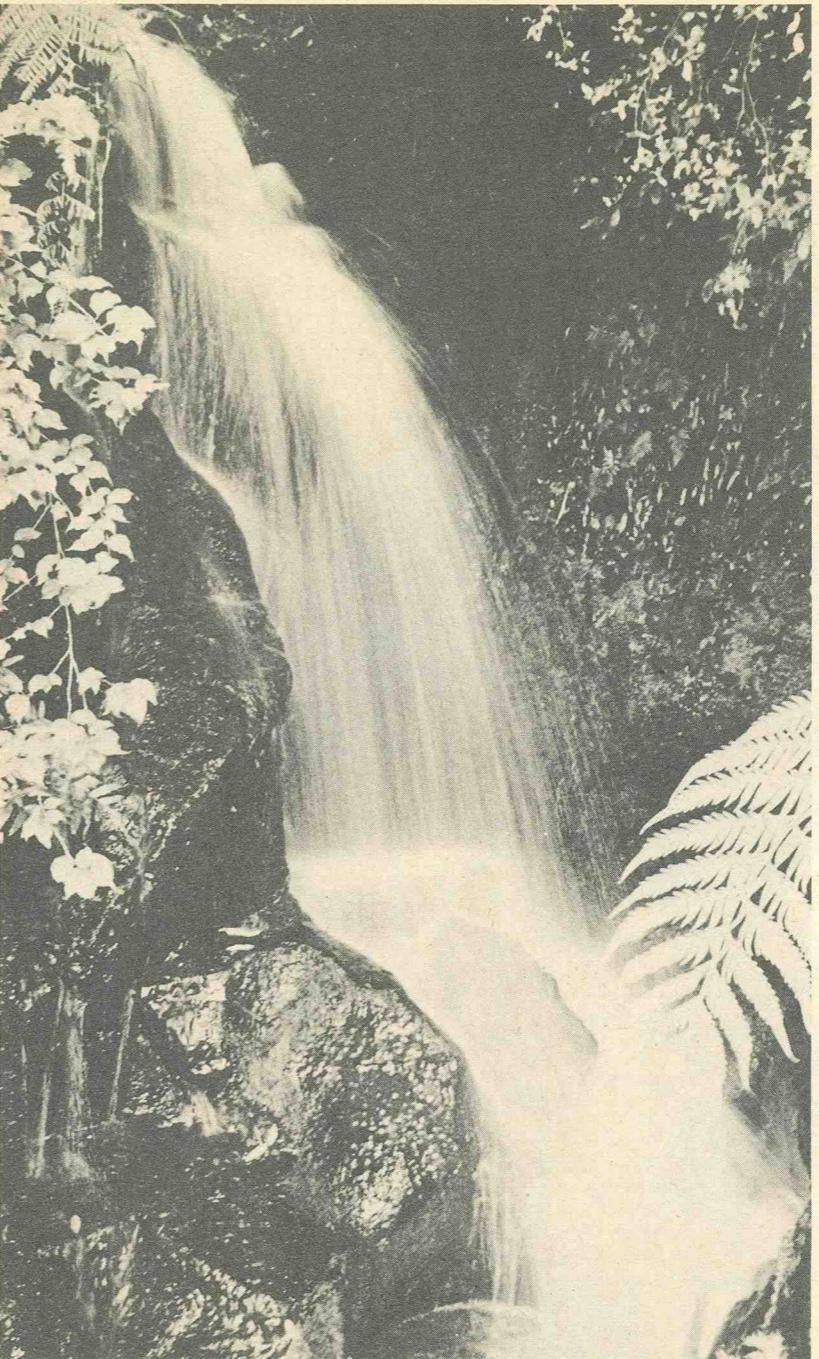
を見かけ、案外、身近にも自然が

あるものだと思い、心なごむ一日

を過ごしました。

写真と文／樋渡直竹

武三丁目十三—二十三



あなたの

みやび



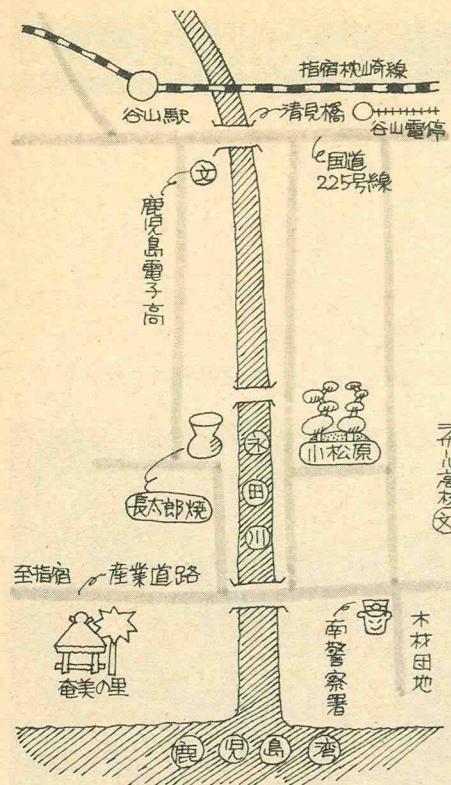
鹿児島大学写真部

「高校野球」、この言葉には何か
梅雨もあけようとする頃、我々
は球場を訪れた。そこには、あの
甲子園のような華やかさはない。

けれど、ここにこそ、本当の高校
野球がある。

野球があるような気がする。
全身に闘志をみなぎらせ、ホー
ムベースに突入する選手。急造の
応援団で必死に応援する生徒。息
子の一挙手一投足に手をたたき、
歓声をあげる父兄。

いつの間にか、我々もその熱狂
に引きこまれ、夢中でシャッター
を押していた。



●取材メモ
黒薩摩・長太郎焼の三代目窯元
は、傍ら、日展に六回入選の陶芸作家でもある。展覧会への応募作品づくりは、専ら夜半。朝は弱い。
のつて届いた。

ここが小松原。島津の殿様の別荘があつたところだそうですが、松もこんなに大きくなつて――。歴史を感じますね。しかし、地名の名残りの松林もこの一角だけになりました。

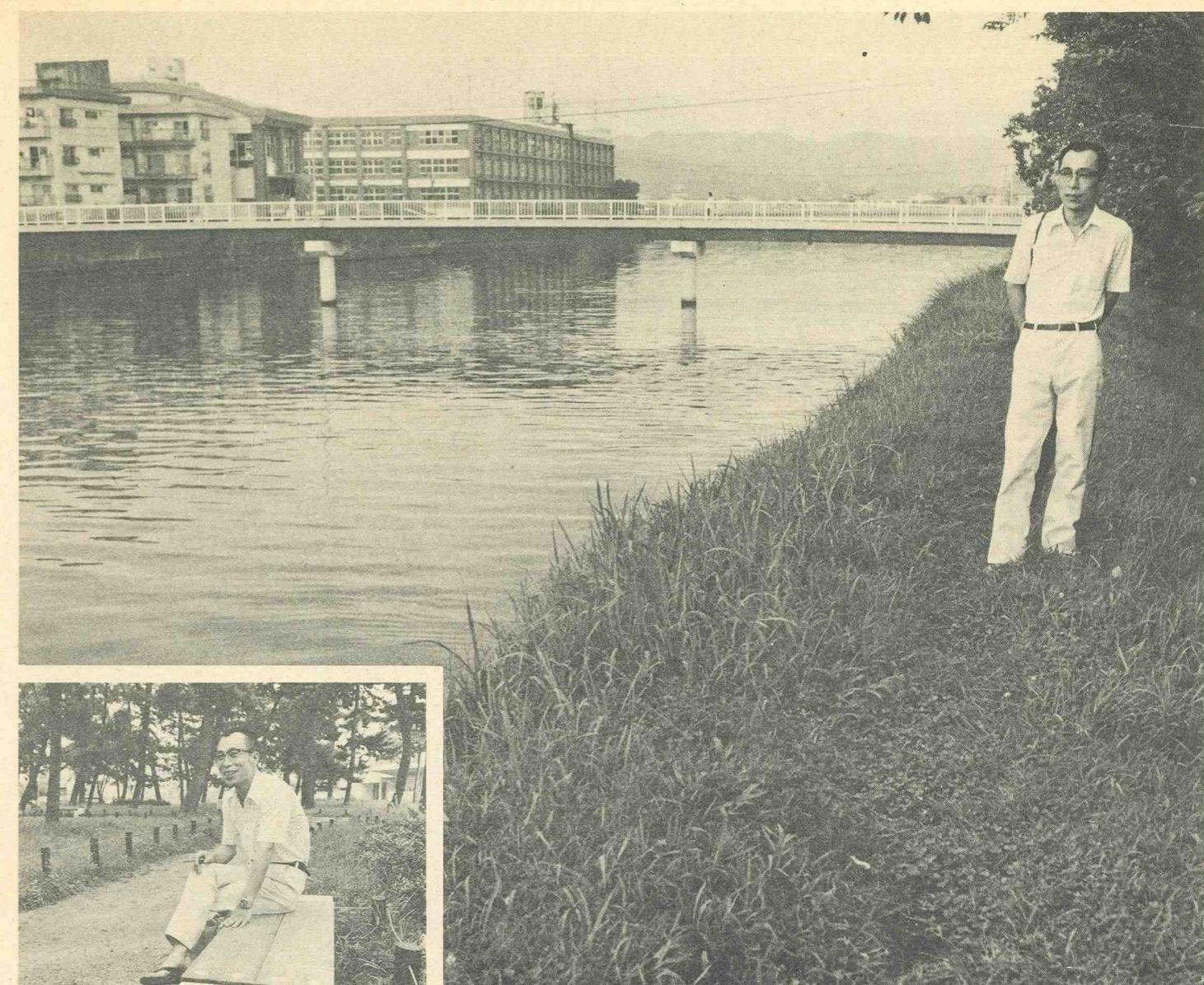
私は釣りが好きですから、川口に潮が満ちて、エンジンの音も軽く舟が下つて行くのを見ていると、心が和むんです。

周りがどんなに変わつても、松林にかこまれた私の家と、海に続くこの川は、昔と少しも変わりません。(談)

とのことであつたが、満ち潮の午前九時に、待つていてくださつた。思い出したように降る雨の合間にをぬつての取材。潮の香りが風にのつて届いた。

ばい”で潮干狩。夏は“ホツサゲ”のたて網。秋の夜、海に輝く満月。冬の海にはカモが漂つて――。

そうですね。一昼夜、窯焼きをして、もう上の前になつた。千二百五十度近くなつた色を見て、焼けたなと思つた時、ふつと散歩に出たくなります。それといつもだと、どんな作品を作ろうかと最初の発想がまとまらない時などですね。対岸の小松原辺りまで、ぶらぶらと歩いて、煙草を吸つて、まあ、二十分ぐらいですか。



私は、生まれも育ちもここですから、東京で美大に通つた四年とサラリーマン生活二年半を除く、三十七年余りを過ごしたことになりますね。

地元の人は、この辺りを東塙屋と呼んでいるんですが、海に縁のある名前も埋めたてられて、陸の中に取り込まれてしまつて――。昔を知らない人には、ピンとこないかも知れませんね。

それにしても、すっかり変わりました。工場が建ち並び、車の騒音や排気ガスは多くなつたし。それと潮の色が濁つてきたのが悲しいですね。

私の家は海岸端にあり、満ち潮の時、庭先から釣りが出来ました。そうなあ、今頃だとキス、アメ、オコゼなどですが、おもしろいよう釣れたものです。

海岸の四季もよかつたですね。春は今で言うピクニックの“おで

満ち潮の川は
思い出につながる

陶芸家 有山 長佑

永田川・川口

わたしの散歩道

5月25日・薩摩義士慰靈祭

雨の降る中、薩摩義士に扮した一行300人が義士碑前(城山登山口)から天文館を通り平田公園までパレード。藩政時代、木曽川の治水工事を行った薩摩義士の偉業をしのびました。

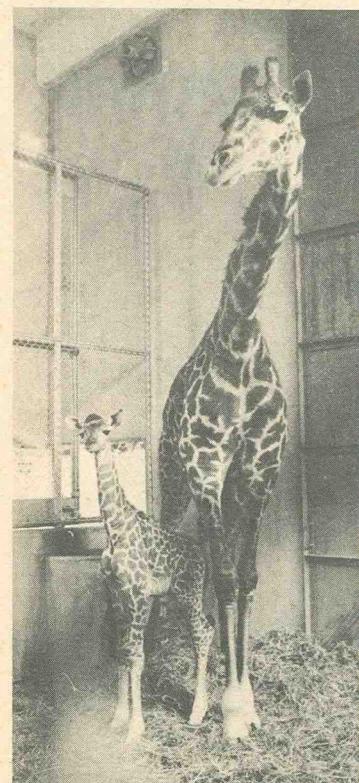


5月10日・稻盛和夫さん市民文化ホールの建設基金などに寄付

鹿児島市出身の京都セラミック(株)社長稻盛和夫さんから個人として1億5000万円が寄付されました。これは、市民文化ホールの建設や福祉関係の費用に充てられます。



6月11日・キリンの赤ちゃん誕生
キリ子(母親)とたかお(父親)の間に三番目の赤ちゃん(雄)が誕生しました。赤ちゃんといつても体高190cm、体重80kg。これから動物園の人気ものになりそうです。



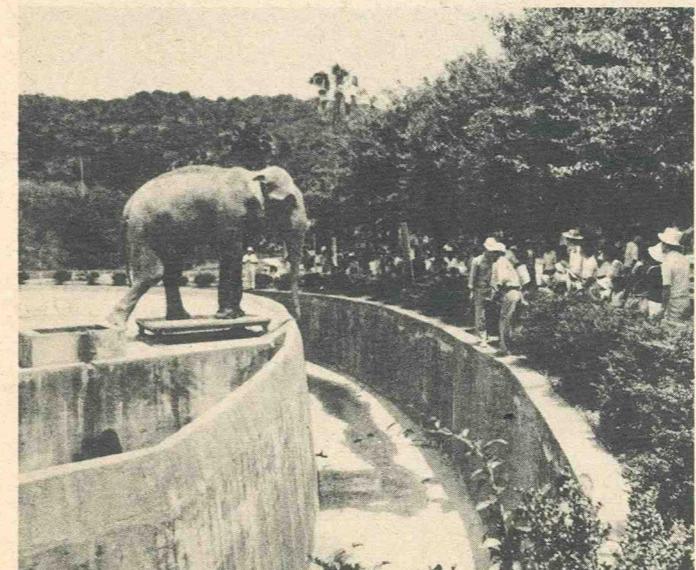
5月27日・パース市の高校生記念植樹

姉妹都市、パース市のセント・ノーパート高校の一行が鹿児島市を訪問しました。27日、友好親善のしるしとして、ユーカリヒクスの木の記念植樹を平川動物公園で行いました。

6月21日・オランウータン「公平君」満1歳
オランウータンのピッグとモンちゃんの間に生まれた公平君が満1歳の誕生日を迎え、バースデーケーキなどでお祝いをしてもらいました。生まれた当時は1800gしかなかった公平君も体重約10kg、身長約50cmに成長。動物園の人気ものになりました。

6月7日・ホタルを見るタペ

加治屋町西郷誕生地横(甲突川左岸緑地帯)でホタルを見るタペが開かれ、5000人の市民が集まりました。この日は観察しやすいようにホタルは100匹ずつかごに入れられました。

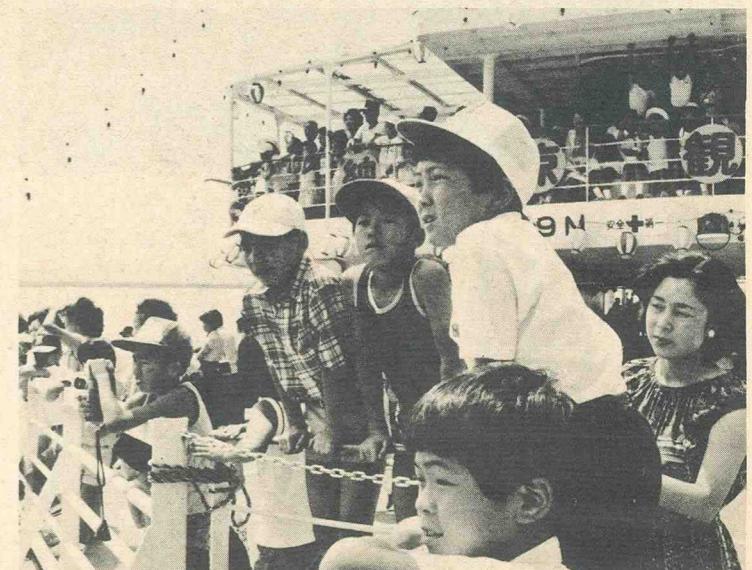


6月7日・ゾウのドム君の体重測定

6月7日は計量記念日。この日、平川動物公園のドム君の体重測定が行われました。体重はなんと2895kg。この計量器はこの日のために兵庫県のメーカーからとり寄せたデジタル式電気抵抗線計。

6月17日・スズラン娘来庁

北海道からスズランが市役所に届けられ、甘い初夏の香りを漂わせていきました。



7月21日・鹿児島港施設見学会

海の記念日に因んで海と港をよく知っていただこうと、鹿児島港施設見学会が実施されました。この日、約1000人が参加。夏休みの一日を家族一緒に楽しんでいました。

あの店 この店

パンのミカエル堂

西田二丁目

ふつくらと弾力のある、焼きたてのあんパンをひとかじりすると、アツをよくぬいたこし餡が、ほどよく口の中にひろがった。

菓子パンのあんパンは、百年ぐらいために東京木村屋がつくりはじめた、日本生まれのパンという。

ところで、同じあんパンでも店によって、全くなつた風味がある。パン皮に比べて多く入れた甘過ぎるあんパンは食べづらい。

ミカエル(大天使の意味)堂のご主人は、十五歳の時に師匠についた、この道四十五年のベテラン。

あんパン、クリーム、ジャム、メロン。餡をあつさり含んだ、香り高い菓子パンを久し振りに食べたような気がする。



▲お嫁さんは袋詰めの手伝い



▲パン作りは父と子の息のあったコンビで



▲西田本通りに面した店



▲奥さんはお客様の応対にてんてこまい



▲パン生地を1個分ずつ手際よく量って

▼この冊子は、季刊年四回発行です。ご家庭にお届けできないのが残念ですが、理・美容院、銀行、病院などに置いています。感想やご意見など、お寄せいただければ幸いです。

▼鹿児島市は、市政施行九十二年目にして五十万都市の仲間入りをしました。県民百七十五万人の県都として、調和のとれた住みよいまちづくりを市民総参加で考えていく新都市時代の幕明けを迎えたといえましょう。

そういう意味で、今回の特集は「五十万都市鹿児島」をとりあげてみました。

▼「市民フォト鹿児島」第二号をお届けします。
という季節になりました。九月は「長月」とも言いますが、霖雨(りんう)といって、しどしどと長雨が降ったり、また、夜明けに急な冷え込みがあつたりで、体調が狂いややすい月です。くれぐれもご注意を。

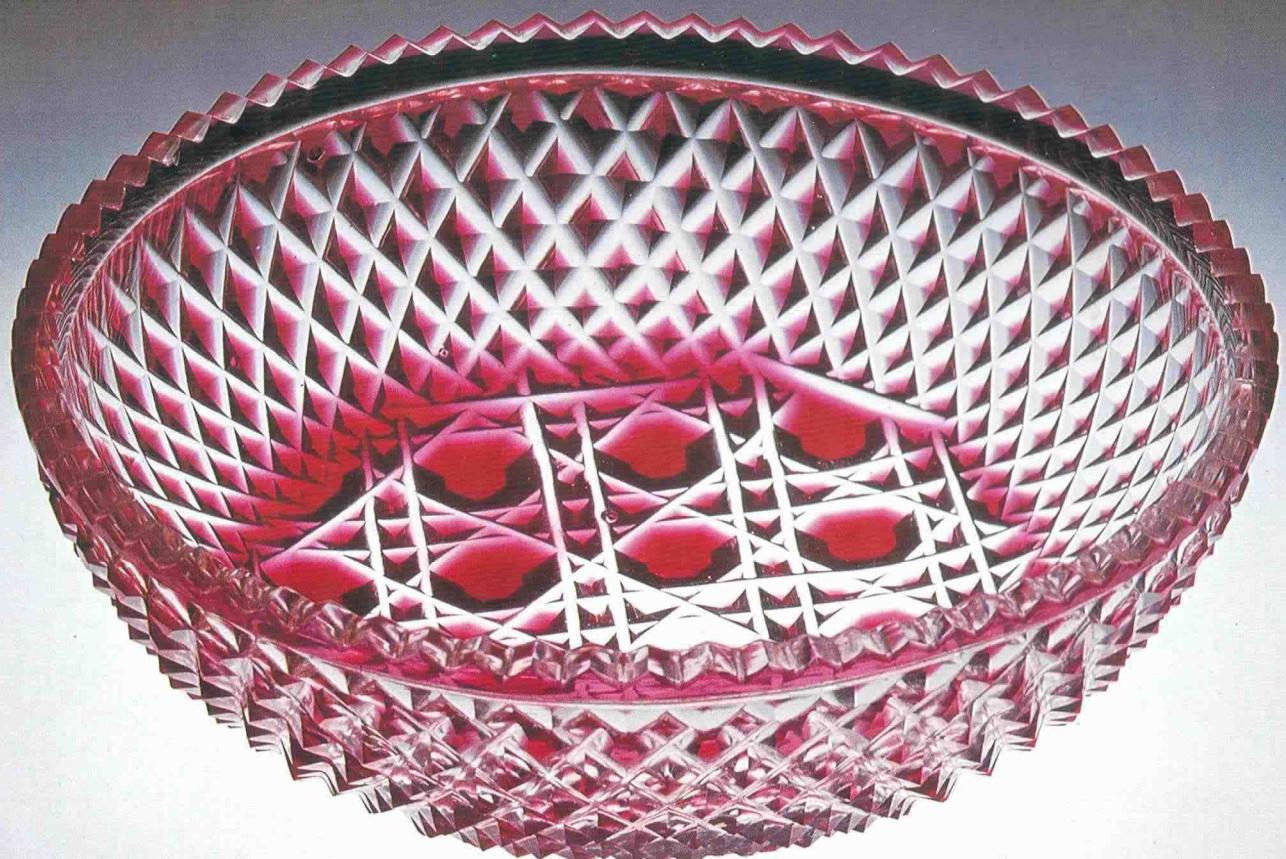
●編集後記

薩摩切子

さつまきりこ
〈由来〉 硝子は齊興が江戸から四本亀次郎を招いて薬品の容器を作らせたのはじまり、ついで齊彬が人材と経費を惜しみなくつぎ

こんで改良し、各種の色彩の色硝子を作りだし、カットで文様をつけて、いわゆる薩摩切子を完成した。

なかでも、金を加えて作りだした紅色で透明なものは「薩摩の紅硝子」といわれて、もてはやされた。



〈解説〉 紅硝子は金箔を王水にとかしてできる沈澱物を硝子に溶融してつくった。原料の純度の関係から、透明度はやや低く、暗赤

色に近いややくすんだ色調であるが、それが、かえってキラキラと輝く冷たい感じを和らげて、なんともいえない深みのある赤色をつくっている。

これをとかして、透明ガラスの上にかぶせて原型をつくり、その表面を円盤状の回転砥石でカットして文様をつけた。カットは、このような手作業でつくったので、型物どちがつて、手にもつと痛みを感じるくらいに鋭い。

文様は直線を組合せた格子模様が多いが、デザインも技法も、百三十年という年代を感じさせない新鮮さをもつてている。

薩摩切子は、江戸時代の薩摩美術工芸の高さを表わす示標である。

市立美術館
館長 川村 純二



困るんですねえ~「これくらいは……」



●ちょっと、そこの車の人、空カンやタバコの投げ捨ては困りますね。道路や緑道はごみ箱ではありません。

●ほらほら、そこのお母さん、子どもたちがみていますよ、親は子の手本とか。紙くずは、きちんとくずかごに入れてくださいね。

●ちょっと、その男子、空カンを川に投げ捨てはいけません。川はみんなのもの、よがさないようにしちゃね。

まちをきれいにする運動

おはよう
こんにちは
こんばんは



いつも笑顔でいられるって、すばらしいことですね。あなたの明るい声が、街角から街角へ広がって、また新しい仲間がふえてきますよ。笑顔でつづけてください。毎日のあいさつ。

市民あいさつ運動



【市民のひろば】MBCテレビ

毎週日曜日の朝8時から15分間放送(ただし、毎月第3日曜日はお休み。毎月第4日曜日は朝8時から30分間放送)

【市政の窓】KTSテレビ

毎週土曜日と日曜日の2回放送。土曜日は昼1時55分から5分間、日曜日は夕方4時25分から5分間放送

【市政スポット】MBCラジオ

毎週日曜日の夕方4時から『城山スズメ』の中で5分間放送。

市政の動きをテレビで